



## 「カーボンニュートラル関連」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて2023年度第1回セミナーを開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

### <全体概要>

気候変動問題の解決に向けて、パリ協定が2015年に採択されて、今世紀後半に温室効果ガスの排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること（カーボンニュートラル）が合意されました。この実現に向けて、産総研では関連する様々な研究開発が進行中であり、本セミナーでは、「CO2分離回収」「SOFC・SOEC」「アンモニア合成」について、最新の研究成果を紹介します。

### 記

- ◆日 時 2023年9月27日（水） 13:30～16:45
  - ◆開催方式 ハイブリッド開催（会場（REAL）及びWEB（オンライン）開催）
  - ◆会 場 名古屋駅前イノベーションハブ 会議室  
（名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター（ウインクあいち）15階）
  - ◆定 員 会場16名（定員に達し次第締め切り）、WEB（オンライン）50名程度
  - ◆参加費 無料
  - ◆参加申込期限 2023年9月13日（水）
  - ◆参加申込フォーム
- 会場参加 <https://forms.office.com/r/Kt5MRCfKhN> 
- ※会場参加は、定員に達しましたら締め切りとさせていただきます。
- WEB参加 <https://forms.office.com/r/yjy59BsTSE> 
- ※後日、セミナー参加用のURLを送付いたします。

### ■プログラム

－13:30～14:30（質疑応答含む）

#### 基調講演

「カーボンニュートラルの動向と産総研の関連研究の紹介」

古谷 博秀 氏

（産業技術総合研究所 研究戦略企画部 次長）

#### 【講演要旨】

地球温暖化の影響は世界規模で年々顕著になり、世界はカーボンニュートラルに動きつつある。ここでは、国内外でのカーボンニュートラルの動向と、産総研が進める様々な関連する研究開発について紹介する。

－14:30～15:10（質疑応答含む）

#### 各論講演①

「Direct Air Capture 技術の開発動向と展望」

牧野 貴至 氏

(産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 化学反応場設計グループ グループ長)

【講演要旨】

2050年カーボンニュートラルの達成には、大気中から直接CO<sub>2</sub>を回収・固定化するネガティブエミッション技術が必須である。本講演では、ネガティブエミッション技術のひとつであるDirect Air Capture技術について、最近の研究開発の動向と展望を私たちの研究成果を交えて紹介する。

－15:10～15:25 ー 休 憩 ー

－15:25～16:05 (質疑応答含む)

各論講演②

「固体酸化物形電気化学セルによるカーボンニュートラル実現に向けた取り組み」

鷲見 裕史 氏

(産業技術総合研究所 極限機能材料研究部門 固体イオニクス材料グループ グループ長)

【講演要旨】

固体酸化物形燃料電池(SOFC)は、原理的に水素以外に炭化水素やアルコール燃料等を直接用いることができる。また、固体酸化物形電解セル(SOEC)は、水蒸気以外に二酸化炭素も電解可能である。本講演では、炭化水素内部改質 SOFC や共電解 SOEC 等について紹介する。

－16:05～16:45 (質疑応答含む)

各論講演③

「窒素資源の循環利用と触媒材料技術の開発」

木村 辰雄 氏

(産業技術総合研究所 極限機能材料研究部門 ナノポーラス材料グループ グループ長)

【講演要旨】

窒素酸化物を化学原料とする資源化反応を実現する触媒材料技術の開発を進めている。本講演では、独自開発した多孔質アルミナと金属触媒及び吸蔵成分を複合化して達成した新しい吸蔵還元反応によるアンモニアの選択合成を紹介する。

【お問い合わせ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局

〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目 205 番地

国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター産学官連携推進室 内

電話 052-736-7370 / FAX 052-736-7403

E-mail [M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp](mailto:M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp)

以上